

2024年度 東京YMCA国際ホテル専門学校 学校関係者評価

1. 2024年度に定めていた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ①Practice Hospitalityを教育理念の1つとし、職業実践教育を継続して行う。（ホテルでの通常実習制度の充実）
- ②1学生が2資格以上、資格取得することができるようにする。
- ③就職率95%以上を維持する。

2. 評価項目の達成及び取組状況

4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

(1) 教育の理念・目標

評価

1	学校の理念・目標や育成する人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
2	学校における職業教育の特色は何か	4
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

《取組と課題》

キリスト教精神に基づく「精神・知性・身体」の調和のとれた全人教育を理念として掲げ、「努めて旅人をもてなさない」というスクールモットーと併せて、入学前から学生・保護者に説明されていると考える。多様化が進むホテル観光業界のニーズに応えるべく、新規カリキュラムの開発等の検討などの取り組みも進めて欲しい。

(2) 学校運営

評価

1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	3
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確にされているか、有効的に機能しているか	3
4	人事や給与に関する規定等は整備されているか	4
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

《取組と課題》

財務・労務のシステム面でICT化が進み、スタッフの業務負担軽減に繋がっている。Google Classroomの運用も定着しており、学校からの連絡通知や授業資料の配布・集計などの迅速化と簡易化が進んでいることから、学生・講師の評価や満足度も高くなっている。

(3) 教育活動

評価

1	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3
2	教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点にたったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
5	関連分野の企業・時間系施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの見直し等が行われているか	3

6	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技、実習等）が体系的に位置づけられているか	4
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
11	人材育成の目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
12	関連分野における業界等の連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力養成など資質向上のための取組が行われているか	3
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	2

《取組と課題》

授業や企業実習等のカリキュラムは体系的に編成されており、また定期的に再検討されている。学生の資格取得意欲も向上していると考え。次年度は、教員・講師の能力開発を目的とした研修機会を増やして欲しい。

(4) 学修成果

評価

1	就職率の向上が図られているか	4
2	資格取得率の向上が図られているか	4
3	退学率の低減が図られているか	3
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

《取組と課題》

年々早期化する就職活動に対応できるよう1年次からの就職指導が、効果的に実施されており、高い就職率が維持されている。引き続き、経済的な事情で退学する学生が一定数いることへの課題解決が必要と考える。

(5) 学生支援

評価

1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
5	課外活動に対する支援体制は行われているか	4
6	学生の生活環境に対する支援体制は整備されているか	3
7	保護者と適切に連携しているか	3
8	卒業生への支援体制はあるか	4
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	4

《取組と課題》

各クラス担任を中心に、学生に合わせた生活・実習・就職指導が行われている。法人グループ内の学校事業部との協働・活動の機会が増えており、隔年で実施されている卒業生校友会は、世代を越えた交流の機会となっている。

(6) 教育環境

評価

- | | | |
|---|--|---|
| 1 | 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか | 4 |
| 2 | 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか | 4 |
| 3 | 防災に対する体制は整備されているか | 3 |

《取組と課題》

施設設備は、現状に合わせて全教室の整備が完了した。今後は共有部のメンテナンスを中心に、備品の買い替え等を含めた計画を立て、定期的な授業・教室環境整備に努めて欲しい。

(7) 学生の受入募集

評価

- | | | |
|---|-----------------------------|---|
| 1 | 学生募集活動は適正に行われているか | 4 |
| 2 | 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか | 3 |
| 3 | 学納金は妥当なものとなっているか | 4 |

《取組と課題》

各種SNS対応、学校HPのリニューアルを進め、WEBマーケティング施策を継続して強化する。近年増え始めた留学生からの問い合わせや入学後のフォローを目的に、留学生支援室を設置し対応する。

(8) 財務

評価

- | | | |
|---|--------------------------|---|
| 1 | 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか | 4 |
| 2 | 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | 3 |
| 2 | 財務について会計監査が適正に行われているか | 4 |
| 3 | 財務情報公開の体制整備はできているか | 4 |

《取組と課題》

財務基盤は安定しており、会計監査も適正に行われている。

(9) 法令遵守

評価

- | | | |
|---|-------------------------------|---|
| 1 | 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | 4 |
| 2 | 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか | 4 |
| 3 | 自己評価の実態と問題点の改善を行っているか | 3 |
| 4 | 自己評価結果を公開しているか | 3 |

《取組と課題》

法令等を遵守し、適正な学校運営が行われている。引き続き、自己評価・学校関係者評価から出た課題の改善に取り組んで欲しい。

(10) 地域貢献・社会貢献

評価

- | | | |
|---|---|---|
| 1 | 学生の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか | 4 |
| 2 | 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか | 4 |
| 3 | 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか | 3 |

《取組と課題》

YMCAが最も得意とする分野であり、学生たちも積極的に各種ボランティア、支援活動に取り組んでいると考える。